

日本ロレンス協会第 51 回大会報告

第 51 回大会は 2020 年 6 月 20 日（土），21 日（日）に高知県立大学で開催の予定でしたが，新型コロナウィルスの感染拡大をうけて開催方法を変更し，元来予定されていた 2 名の大学院生による研究発表は YouTube を使ったヴァーチャル形式で行なわれました。

6 月 20 日から動画を配信し，質疑応答は 27 日までの一週間に電子メールを通じて発表者に質問が送られ，発表者がその後に一括して応答するという形をとりました。



杉野久和氏（京都大学大学院）は，「*Lady Chatterley's Lover* における男性性の再生——D. H. ロレンスの教育哲学の検討」という題目で研究発表されました。



大江公樹氏（早稲田大学大学院）は、「*Women in Love* の ‘The Industrial Magnate’ に見る、レフ・トルストイへの応答」という題目で研究発表されました。

会員からはさまざまな質問がメールで寄せられ、杉野氏、大江氏とも応答の文書を返信するという形で質問に答え、充実した質疑応答となりました。

来年度の第 52 回大会は 6 月 19 日（土）、20 日（日）に開催の予定です。ウィルス感染拡大の状況から、まだ確定的なことが言える段階ではありませんが、会場の高知県立大学永国寺キャンパスでお会いできることを願っています。